

## 任意活動団体

## 宮窪水産研究会

\* 代表者 : 会長 藤本 二郎  
事務局 藤本 義信  
\* 所在地 : 今治市宮窪町宮窪1924  
\* 活動分野 : まちづくり、  
環境保全、  
経済活動の活性化

\* 活動地区 : 宮窪地区  
\* 連絡先 (TEL) : 090-1173-4448  
\* HP : 「NPO法人 能島の里」  
<http://www.noshimanosato.org/>

## 活動をはじめた「きっかけ」

漁業を取り巻く状況が大きく変化しているなか、平成8年に、当時20～40代の後継者世代であった漁業者が、「豊かな海を取り戻したい」、「自分たちで何かできないか」という漁業に対する危機感から、「宮窪水産研究会」を立ち上げ、海の環境保全などに対する取り組みを開始。

## 現在の主な取り組み

### 『水軍ロマンの島・宮窪町を発信！！』

#### \* 宮窪の漁師市のはじまり

会員からの「自分たちで捕った魚は自分たちで売ろう！」という声で、「宮窪の漁師市」を始める。

毎月第1日曜日に、宮窪漁港で開催しており、今治市や福山方面など、島外からも、新鮮な魚介類を目当てに、足を運ぶファンも多い。

(※現在は、漁師市実行委員会が運営)

#### \* 宮窪町での潮流体験の発案と発信

村上水軍の有名な大将がいた宮窪（能島）を知ってもらいたい、また、漁師市で来訪する人にもっと滞在して欲しいとの思いから、漁船を使った潮流体験（ガイド付きで能島を1周するクルージング）を開始。

(※現在は、宮窪町漁業協同組合が運営)

#### ▼宮窪の漁市場



#### ▼潮流体験



NPO能島の里(潮流美術館)より

## ～活動団体の声～

活動を始めた当初は、地域住民にはあまり理解されなかったが、宮窪水産研究会ではじめた「宮窪の漁師市」の盛り上がりや「潮流体験」により、宮窪町を訪れる人が増えたり、宮窪町を知ってもらうことにつながったことで、徐々に理解されていった。

宮窪水産研究会の活動は、一定の成果を残し、現在はやや沈静化しているが、今後は、新たに設立された「NPO能島の里」や「株式会社蛭子丸」での活動を主に宮窪町のまちづくりに関与していきたいと考えている。